



爽風 ～えがお～

地域の『お茶』をととした体験学習

2日(木)に、3年生が山口地区へ茶摘み体験に行きました。山口小学校時代から約50年続く伝統的な活動を、加津佐小学校でも継続して行なっています。

地域の方々(若者会)の指導を受けて、子供たちは新芽の「茶摘み」から「茶煎り」そして「茶揉み」までの工程を体験しました。事前にお茶の種類や栽培地域、お茶ができるまで等を指導していただきましたが、実体験によってより地域の良さに触れることができました。香り、手触り、熱感・・・、そして味覚を含めて忘れられないお茶体験になりました。

実は子供たちの活動後には、地域の方の手によって「茶煎り」を8回繰り返されています。そうした時間と手間を経てお茶として飲むことができることや関わってくださった方の思いを知ること、学習の大きな意味です。

全学年で今後も地域を学習の場にしていきます。

そして、ふるさと加津佐を『知る・再認識する』機会にしていきたいと考えています。



運動会練習始まる!



26日(日)の運動会に向けて、各学年の練習が始まりました。ご家庭での話題にもなっているのではないのでしょうか。

明日は第1回目の全体練習をします。種目練習と同様に全体練習も積み重ねることによって向上があり、それが個々の自信にもつながっていくことになります。めあてのもと、がんばらせたいという気持ちはありますが、熱中症や疲労度には十分注意が必要になります。お子様の体調管理についてお願いします。

紙粘土作品の迫力と温かみ

林田裕子さんの紙粘土作品の展示は3年目に入ろうとしています。1か月ごとに作品を入れ替えてくださり、その季節感やふるさとの文化と情景あふれる作品は子供たちや来校された方々の目にとまっています。身近にこんな鑑賞環境があることをありがたく思います。今月は5月を表す「鯉のぼり」などの作品の他に、なんと「ゴジラ」が展示され、子供たちが立ち止まって声をあげています。

来校の折にどうぞご鑑賞ください。

